

	<h2>70. スケート章</h2>	★ 考査員認定	
---	--------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) スケートの歴史を簡単に説明すること。	口述または記述	—
(2) スケートの原理を述べ、スケート靴の選び方、はき方、及びブレードの手入れについて説明すること。	口述 実演	—
(3) 次のスケート技術を実演すること。 ア 20mを10くらいのストロークで前進滑走し、ハの字型またはイの字型ストッピングで停止する。 イ 直径3mくらいの半円を正しくキヤーリングする。 ウ 直径5mくらいの半円を前進のクロッシングをする。 エ 前進からバックへのターン、バックから前進へのターンをする。 オ 片足でバックスケーティングをする。	実演または合格証の提示	—
(4) スピードスケート、フィギュアスケート、アイスホッケーの競技の概要を説明すること。	口述または記述	・ 図示なども用いることができる。
(5) スケートリンク(室内、屋外)で守るべきマナー及び自然結氷の池や湖での注意事項、氷がわかれて水中に落ちた時の処置について説明すること。	口述または記述	—

※ 公益財団法人日本スケート連盟主催のプレーン・スケーティング・テストのB級以上に合格している者は、前記(3)の細目は合格とする。